

伊方町議会第74回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
加藤 智明議員	1 介護職の労働力の確保について	町 長
質問の要旨		
<p>2025年には団塊世代が75歳以上の後期高齢者となり、人口の2割を占めるといわれております。</p> <p>後期高齢者の生活を支えるために、必要な職業といえば介護、医療、家政婦、福祉等の職業だといわれており、介護分野の人手不足は他の職種に比べて深刻で、介護人材の確保・育成は全国的な課題であることから、介護人材の確保と処遇改善が喫緊の課題となっていることは承知されていると思います。</p> <p>また、介護職の離職率は平成24年の約18%から令和元年には約15%と改善されつつあるといえますが、離職率の高い職業の一つだと言われていています。原因としては人間関係、労働力に比べ給与が安いことが原因だといわれています。</p> <p>他の議員も昨年、同じ質問をされており、商品券を支給できないかと質問されておりました。</p> <p>その質問に対し理事者側は「国において、介護職員処遇改善加算の充実が図られており、介護事業所と共に検討し、必要な支援をしていくことにしております。」と答弁されておりましたが、国だけでなく、伊方町独自の支援も必要不可欠と感じます。</p> <p>そこで、3点程お尋ねします。</p> <p>1点目に今年度は何か新しい対策や支援をしているのか。もしくは、される予定があるのか。</p> <p>2点目に奨励金の制度を始めた自治体もあるようですが伊方町でも始める気はないのか。</p> <p>3点目に、人材確保の観点から介護職等に従事する人材の育成を支援する取り組みも必要と思いますが、現時点で何か予定、検討されていることはあるのでしょうか。</p>		